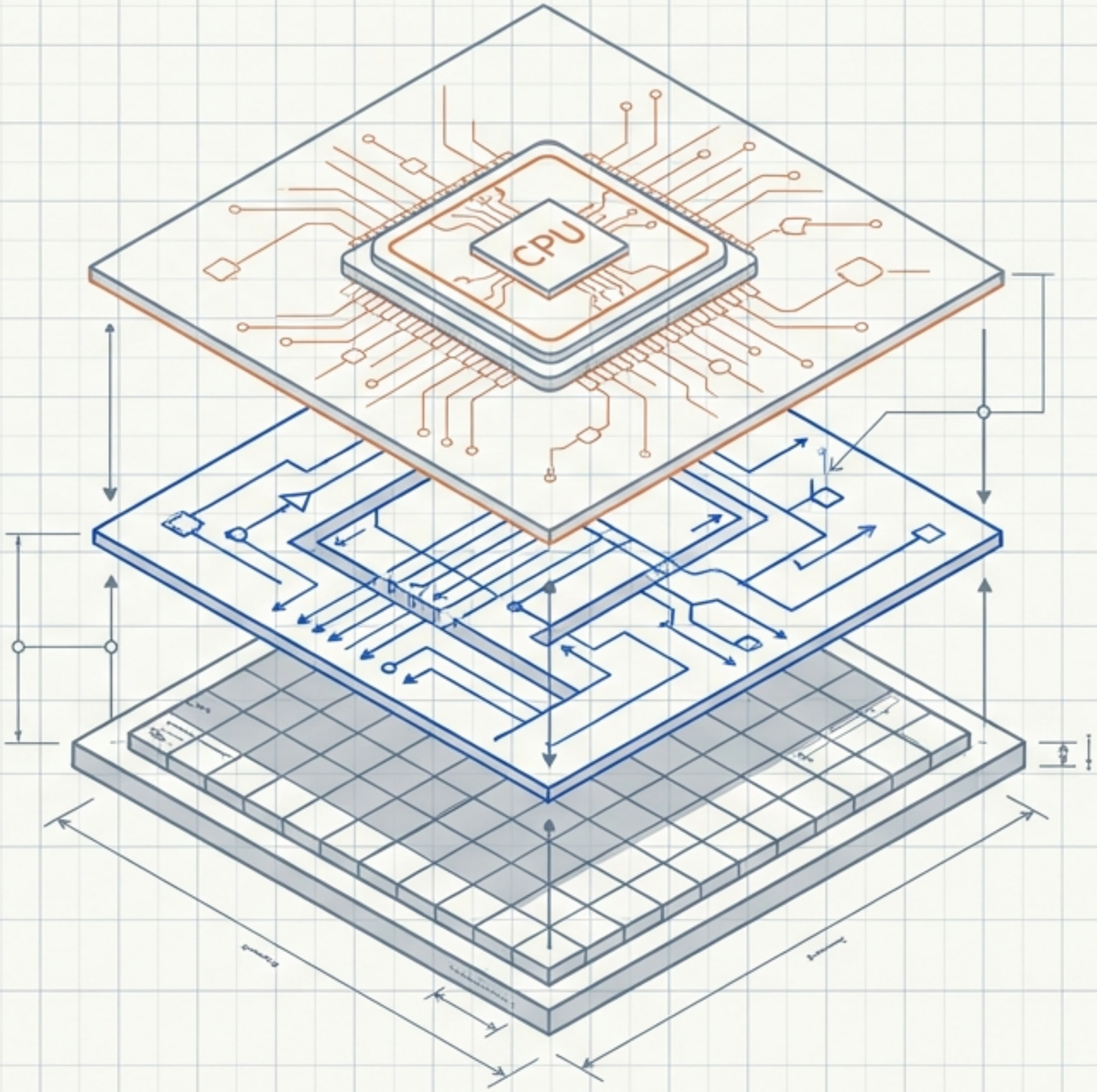
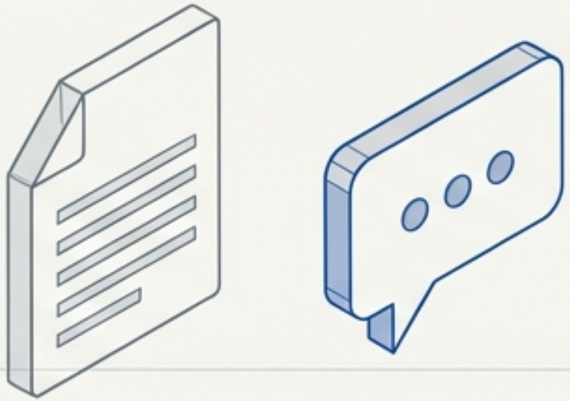
Perplexityの進化：検索エンジンから「マルチモデル・アクションOS」へ

『Computer』戦略の深掘り分析と、AIが「実行」を担う未来の予測

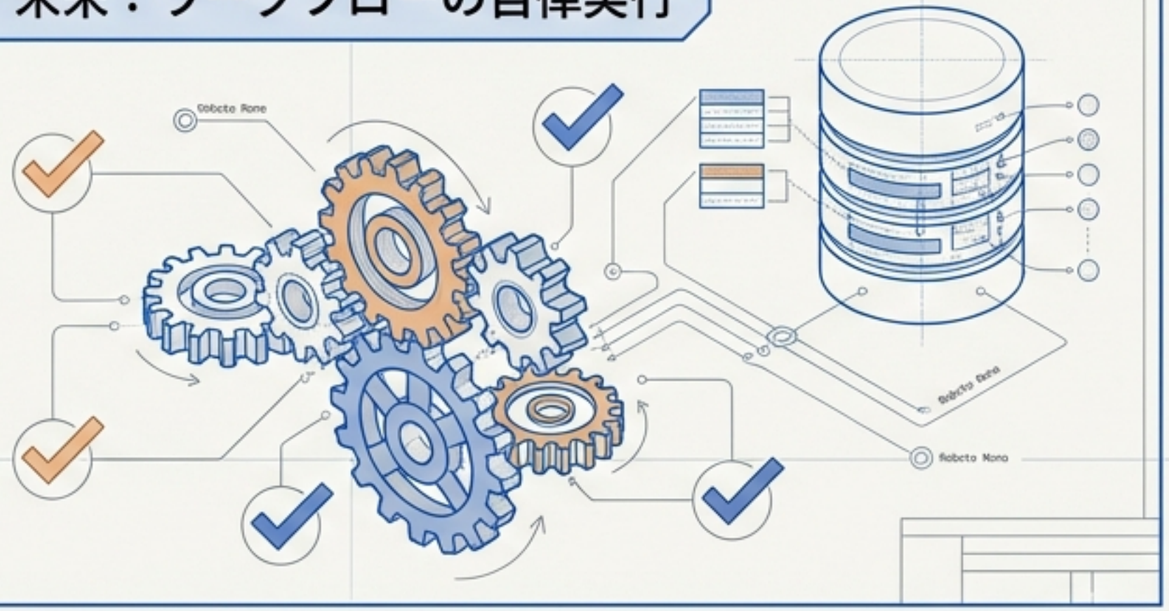


情報検索プロダクトから、20のモデルを束ねる「作業OS」への転換

過去：回答の生成



現在・未来：ワークフローの自律実行

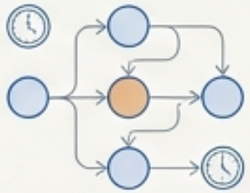


20のフロンティアモデル

単一のチャットUIから脱却し、20種類のモデルを最適に束ねる「ハーネス」構造へ。

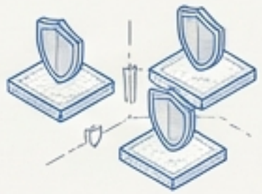
自律的なツール実行

ツール・時間・タスクを跨ぎ、ワークフローを非同期で実行するエージェント的アクセス。



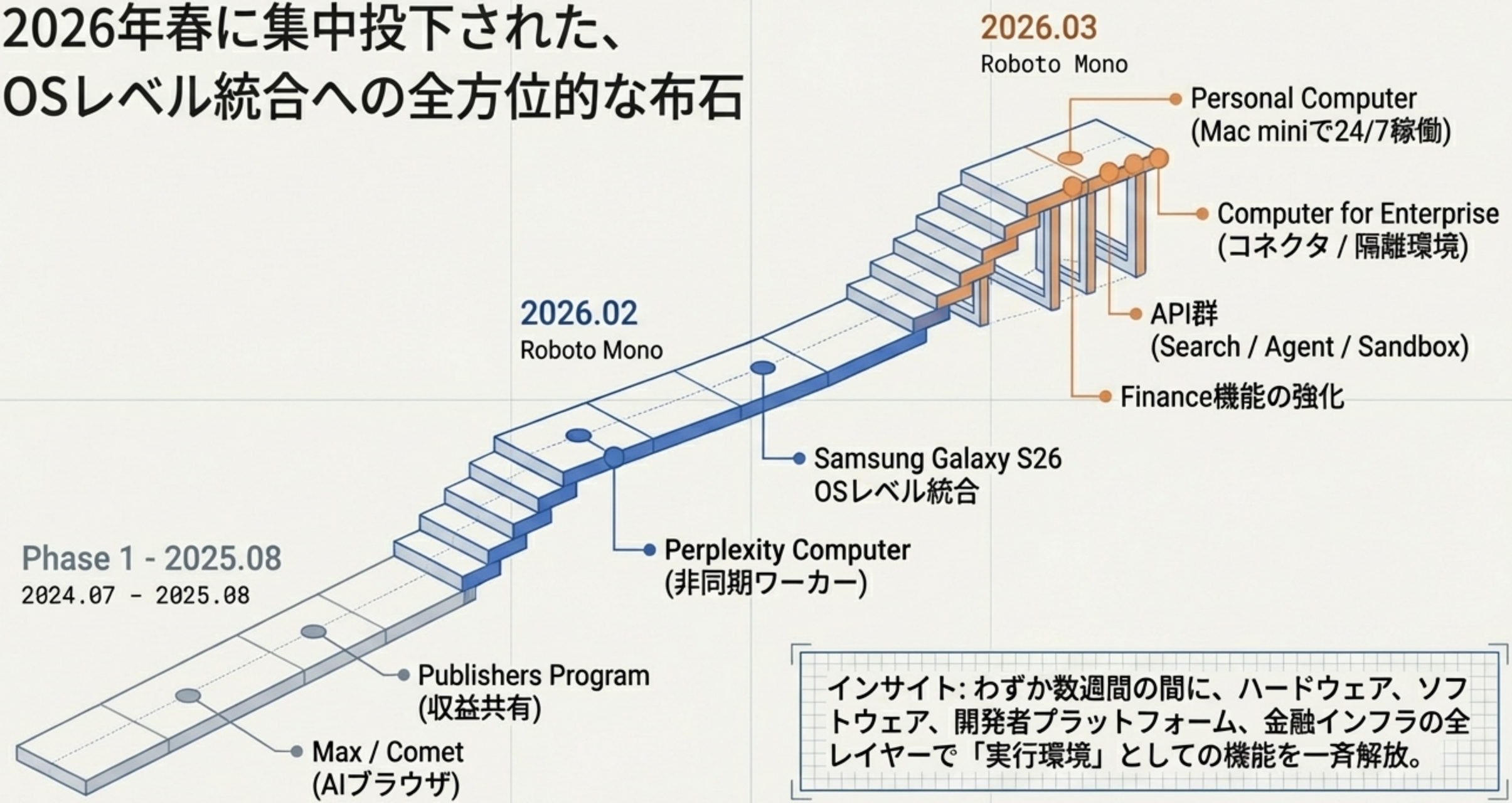
隔離された実行環境

ブラウザ、ファイル、コードを完全に分離して実行するゼロトラスト・アーキテクチャ。



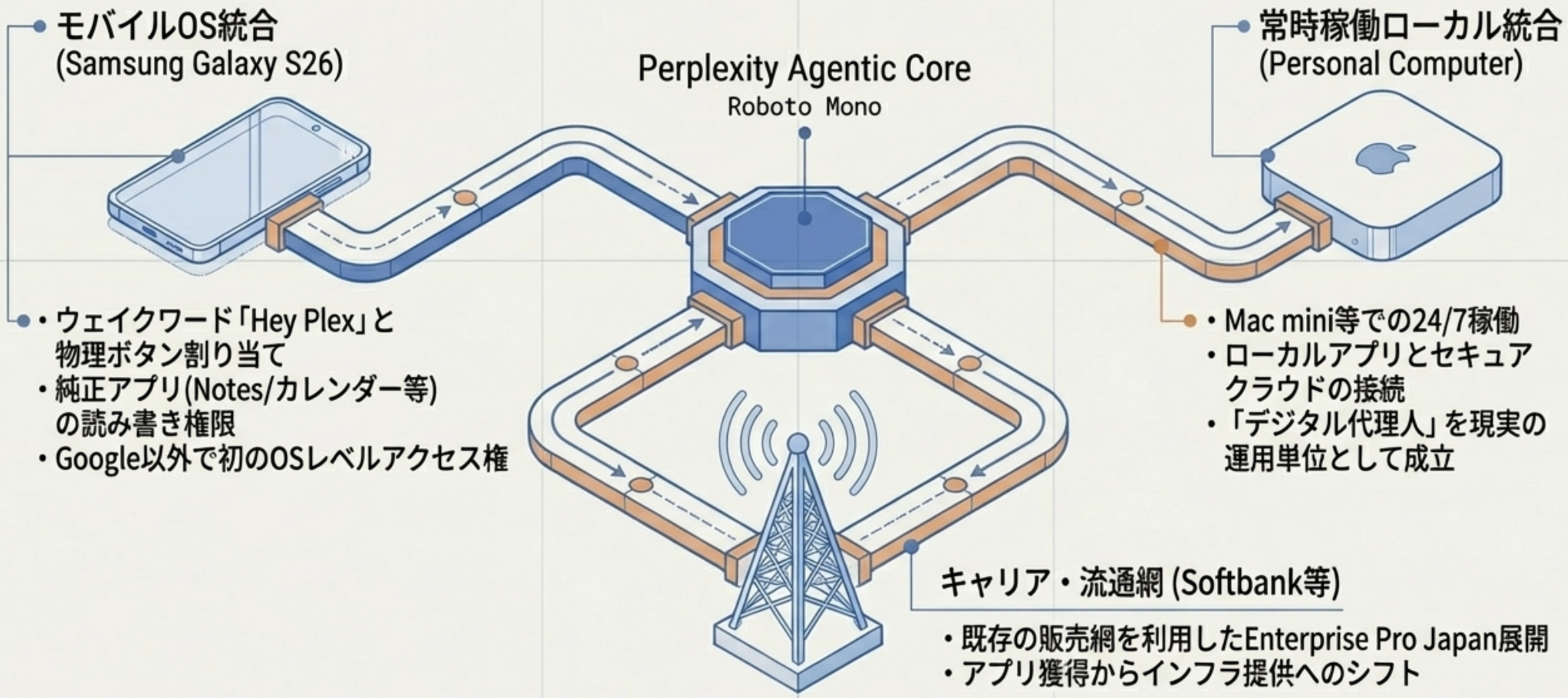
水平展開パッケージ：同一のアーキテクチャを「個人・企業・開発者・金融」へ一気に展開

2026年春に集中投下された、OSレベル統合への全方位的な布石

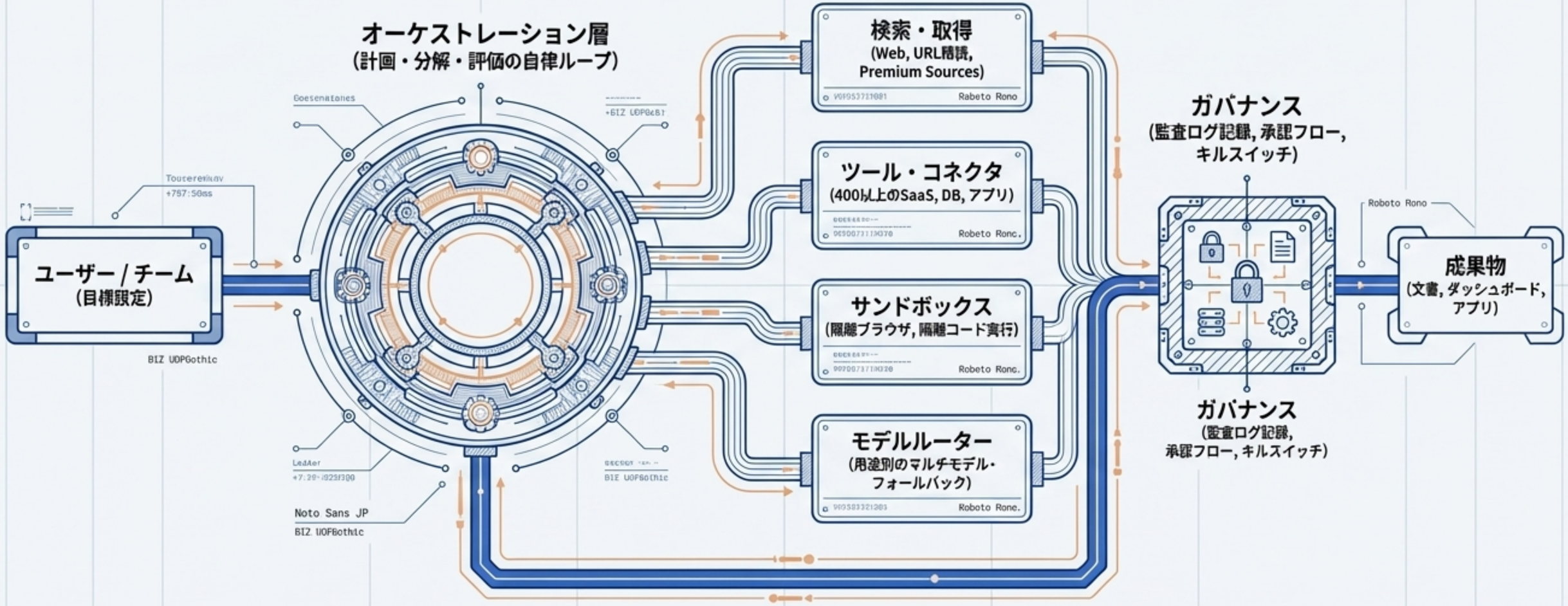


インサイト: わずか数週間の間に、ハードウェア、ソフトウェア、開発者プラットフォーム、金融インフラの全レイヤーで「実行環境」としての機能を一斉解放。

アプリ競争を迂回する「デバイス既定動線」への戦略的ディストリビューション

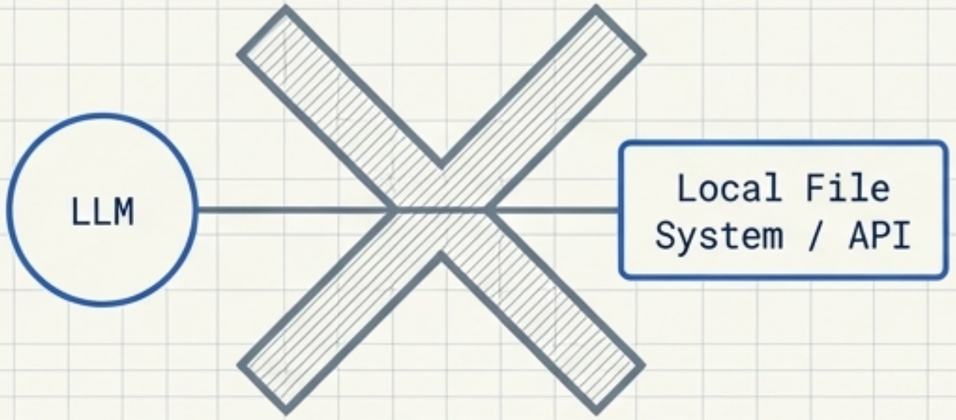


LLMをプロセッサとして扱う「Agentic Control Plane」の設計図



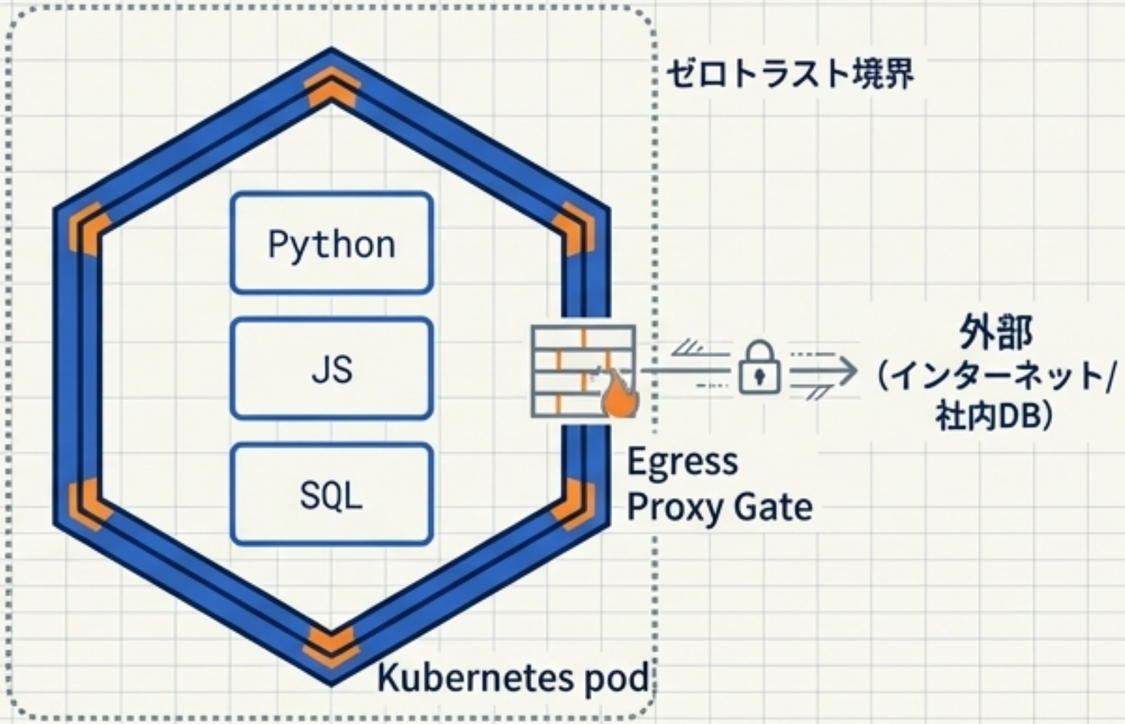
【コア技術①】ゼロトラストを既定とする「サンドボックス」隔離実行

非推奨：直接アクセスモデル



確率的なLLM推論が、そのまま決定的な環境に触れる
危険な構成。

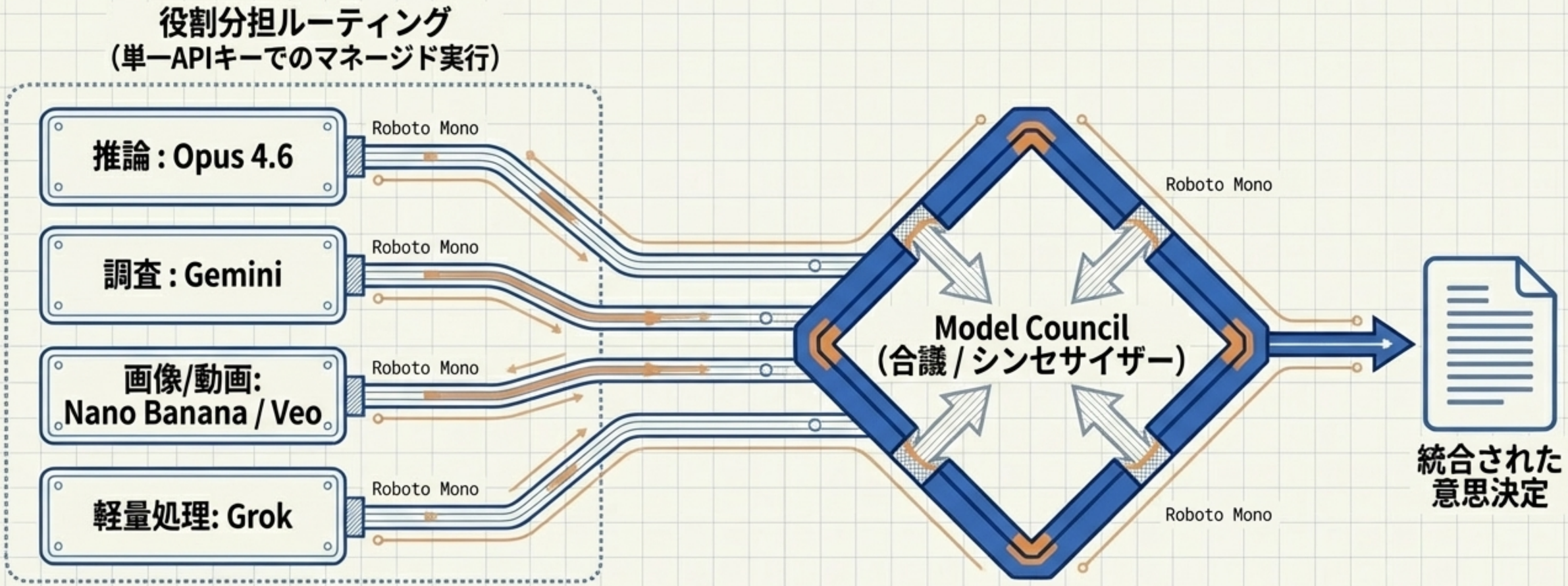
Perplexity：サンドボックス隔離モデル



生のAPIキーを内部に持たせず、エグレスプロキシが宛先を検査し
安全に通信を処理。ステートフルな永続的ファイルシステムを完備。

目的：確率的なLLMの推論と、確実な結果を求めるコード実行を物理的・論理的に分離する。

【コア技術②】マルチモデル・ハーネスと不確実性を管理する「合議（Council）」



役割別ルーティング

タスクごとに最適なモデルを自動・またはユーザー指定で振り分け、単一モデルへの依存を脱却。

トークン予算の制御

サブタスク別にモデルを使い分け、コスト、遅延、精度のトレードオフを厳密に最適化。

Model Council機能

複数モデルを同時実行し、一致点と相違点を提示。「意思決定の説明・の説明可能性」を価値に転換。

個人・出版社・企業・開発者を網羅する4本柱の収益化構造

個人・Pro / Max

$200/月 等（Maxプラン）

パワーユーザーの支払い余地を最大化。新機能（Computer/Comet）への先行アクセス権によりARPUを強気に押し上げる。

ARPU　Computer/Comet

出版社・Publishers Program

Comet Plus 単体$5

人間・検索・エージェントのトラフィックに基づく広告収益共有モデル。パブリッシャーの反発を緩和するエコシステム還元。

トラフィック

企業・Enterprise

1.6Mドルの労務費節約

「3.25年分の作業を4週間で完了」という強烈なROI物語。SOC2や監査ログなど、ガバナンス 要件を完全に満たした席課金モデル。

ROI　SOC2　監査ログ

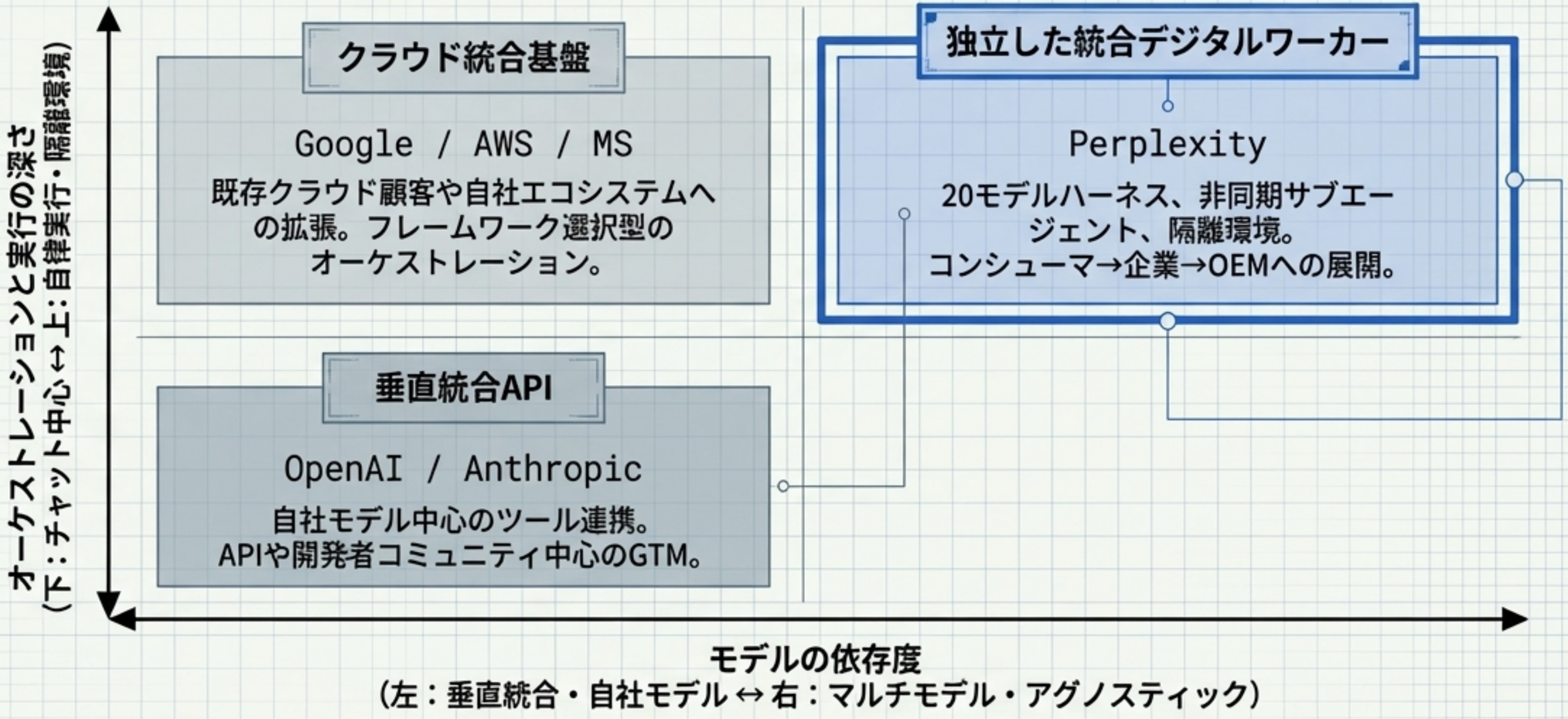
開発者・Agent API

OpenAI SDK互換

Search/Agent/Sandbox等のAPIを公開。既存開発者の移行コストを下げ、ツール・サンドボックス実行を含めた複合課金へ。

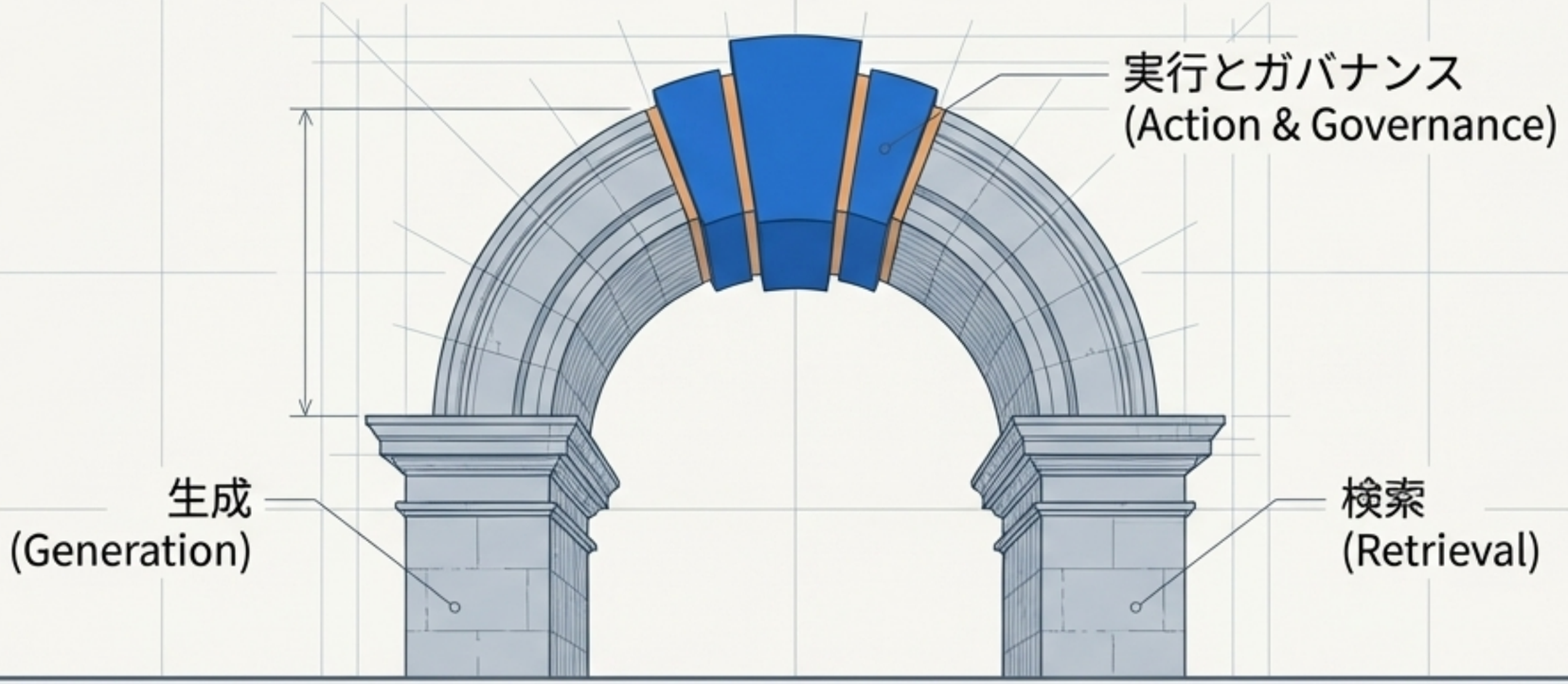
Search/Agent/Sandbox　複合課金へ

【戦略ポジショニング】巨大プラットフォームや垂直統合APIとの明確な境界線



分析:
Perplexityは、自社モデルを提供するわけでも、既存クラウドを売るわけでもない。
「マルチモデル横断の実行レイヤー」という特異な空白地帯を占有している。

【戦略的源泉】競争の主戦場は「モデルの賢さ」から「安全な実行統制」へ



- Perplexityの真の堀（Moat）は、検索エンジンの精度でも、自社LLMの有無でもない。
- 巨大なプラットフォーマーの間に立つ、独立した「マルチモデル横断の実行レイヤー（Agentic Control Plane）」として機能すること。
- 企業のモデル利用が断片化する中、いかに安全に複数のAIを統制し、隔離環境で現実の業務を完了させるかというガバナンス能力こそが、代替不可能な価値を生む。

【エージェント（自律行動）戦略を阻む「3層のリスク防壁」】

リスク深掘り：エージェントの「代理行動」が引き起こすプラットフォームとの激突

Eコマースの壁 (Amazon)

アカウントへの不正アクセスとみなされ、買い物エージェント機能に対してAmazonが差止命令を取得（現在係争中）。代理購入機能の根本的な障壁。

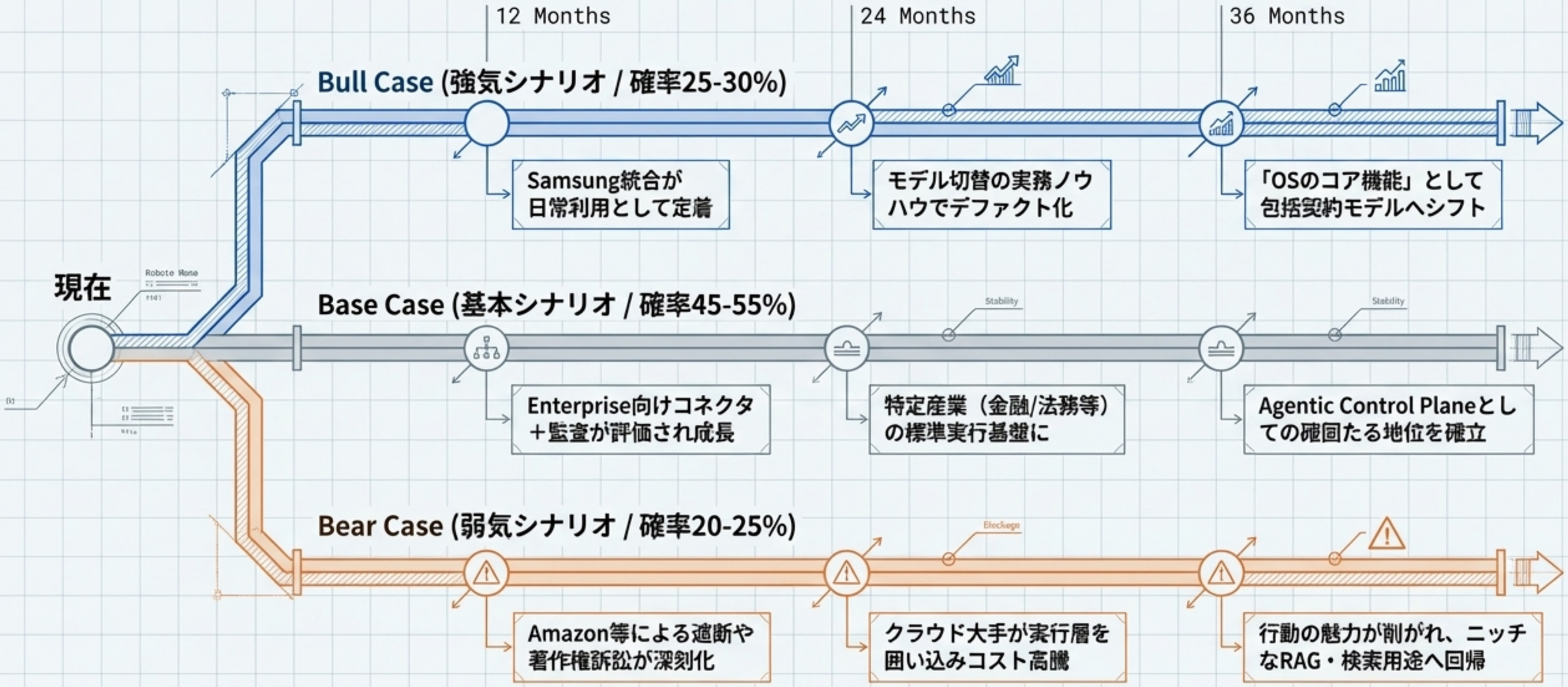
著作権の壁 (主流メディア)

コンテンツ無断利用に対する継続的な訴訟。Perplexity側は「volition（意思行為）の欠如」を論点に防御しているが、法的な不確実性が根強く残る。

インターネット基盤の壁 (Cloudflare)

robots.txtやWAFによるブロックをPerplexityが回避したとされる対立。Webフェッチや情報取得の自由度を直接制限しうる重大なインシデント。

実行環境としての将来予測シナリオ（12・24・36ヶ月）



Perplexityが「OS」として覇権を握るための3つの戦略的提言

1.「行動の正当性」の製品組み込み

- ☐ 行動前の明示的なユーザー承認プロセス
- ☐ エージェント識別の誠実な提示と身元開示
- ☐ 公式API提携による実行経路のホワイトリスト化

BIZ UDPGothic

不正アクセスや詐称とみなされるリスクを根本から排除する。

2.「評価駆動」のルーティング運用

- ☐ 重要ワークフローにおける決定性モードの提供
- ☐ モデル変更影響の事前告知とロールバック機能
- ☐ 監査用トレースとログの完全な標準化

Noto Sans JP

企業用途では「価格や最高性能」以上に「安定性と再現性」を製品要件とする。

3. 高単価領域の監査体制確立

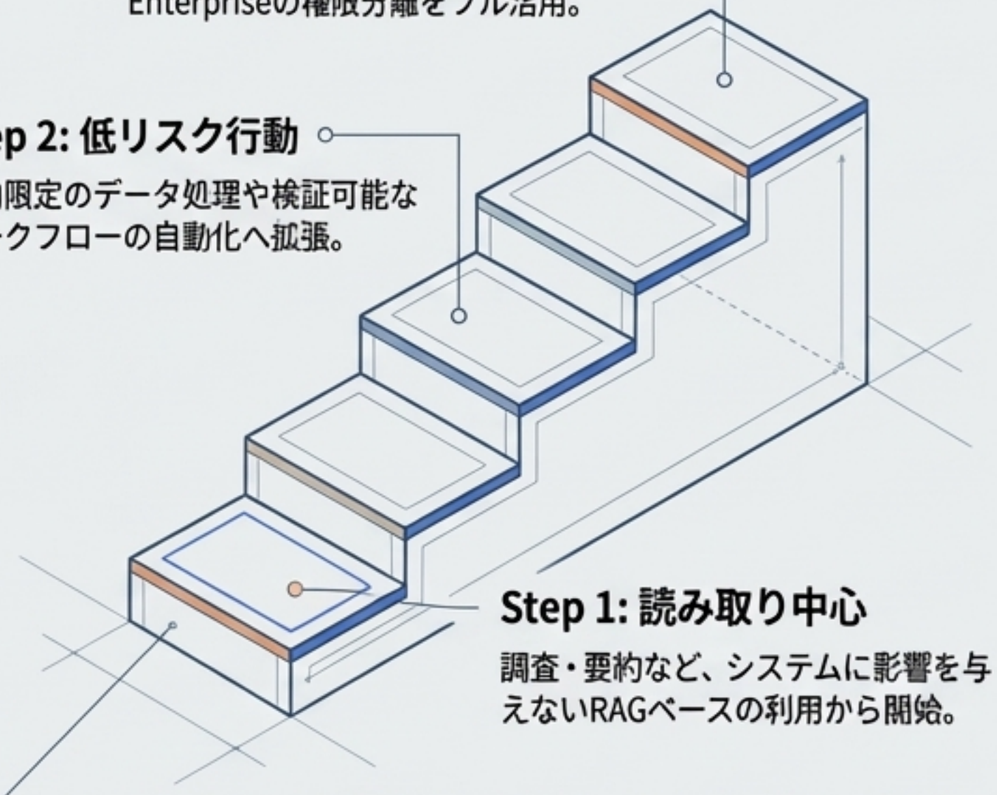
- ☐ データの出所と引用の完全なトレーサビリティ
- ☐ 法務・医療など専門領域の免責事項の整備
- ☐ 誤り訂正の運用プロセスの確立

Noto Sans JP

Premium Sources等の高摩擦領域へ踏み込むための説明責任を果たす。

【プレイブック】顧客企業と投資家のためのアクション・ガイド

導入企業向けの段階的ステップ



Step 3: 高リスク行動

顧客接点や購買行動へ段階導入。Comet Enterpriseの権限分離をフル活用。

Step 2: 低リスク行動

社内限定のデータ処理や検証可能なワークフローの自動化へ拡張。

Step 1: 読み取り中心

調査・要約など、システムに影響を与えないRAGベースの利用から開始。

※RPAの延長ではなく「確率的推論＋決定的実行」の混在システムとして扱うこと。

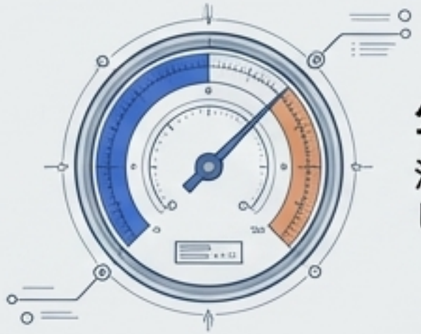
投資家向けの注目KPIダッシュボード

エージェント実行の成功率・再実行率

単なる検索回数からの脱却。自律行動の完遂能力を測定する。

API複合収益

サンドボックス、検索、エージェントを合算したAgentic Platformとしての売上比率。



公式提携数（プラットフォーム摩擦回避）

法務リスクや遮断を回避しうる、先行指標としての公式連携の進捗。